



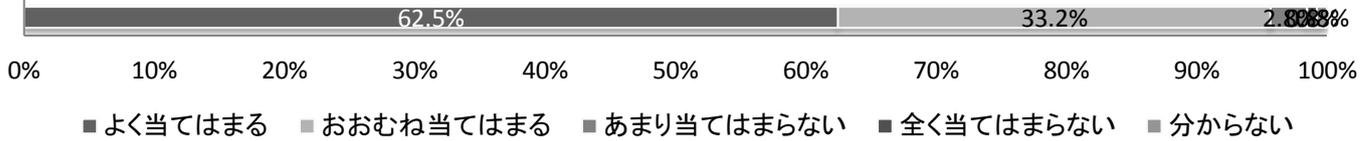
令和2年度「学校教育活動アンケート」の結果について

多摩市立南鶴牧小学校
校長 関口 寿也

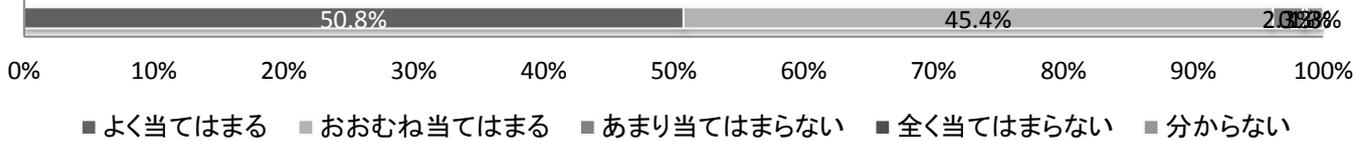
12月に実施しました「学校教育活動アンケート」にご回答いただきありがとうございます。19項目の質問内容のうち、11項目で9割を超える肯定的な評価をいただきました。教育活動が、お子さんの成長に寄与できていることはいずれの限りです。ご意見の中で、個別にお応えできるものについては保護者会やお便り等で回答していきますが、全体に関わる事柄等について、児童・教員のアンケート結果とも対比しながら、今後の学校の取り組みをお知らせします。また、コロナ禍の中での新しい取組として、今年度からWebでの回答を始めました。次年度はWebのみのアンケートとして実施します。令和3年度も、南鶴牧小学校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【総回答率 73.3 % (うち、Web回答率 78.3% / 紙面回答率 21.7%)】

1 お子さんは、楽しんで学校に通っていますか。(★：いただいたご意見 ○：学校からの回答)



2 お子さんは、よい交友関係の中で学校生活を過ごしていますか。



★「学校生活にも慣れ、周りからの見聞きも入り、悪口を言われた、誰と誰はけんか中等も聞こえてきます。家では、悪口は言われても言い返してはいけません、同じことを他の友達にはしてはいけません、と話をしています。」
○肯定的評価は96.2%でした。子供たちは集団で生活しながら社会性を身に付けていきます。時にはトラブルもありますし、周囲の噂に左右されることもあります。そんな折に大切なスタンスは、「あなたはどうかしたいの?」という視点です。子供たちが自立し、自分の考えと意見をもって行動できるよう支援していきます。気になる出来事がありましたら遠慮なくご相談ください。トラブル等を未然防止するには、学校とご家庭の情報共有は欠かせません。

3 お子さんは、進んであいさつし、正しい言葉づかいができていますか。



○肯定的評価が昨年度より4%ダウンしました。コロナ禍でのマスク常時着用の影響もあるでしょう。朝、校門で挨拶をすると多くの子供は挨拶を返してきますが、自発的にしてくる子供は半数程度です。校門前を通る大人の方々も同様です。子供だけの問題ではありません。あいさつは社会生活の第一歩です。周りの大人が積極的に挨拶する姿を子供たちに見せながら、地域で子供たちを育てていくことが理想です。コロナ禍が収まり次第、全学級持ち回りの「あいさつ運動」も再開します。ぜひ、地域で子供たちに声をかけてください。よろしくお願いいたします。

4 お子さんは、基礎的・基本的な学力を身に付けていますか。



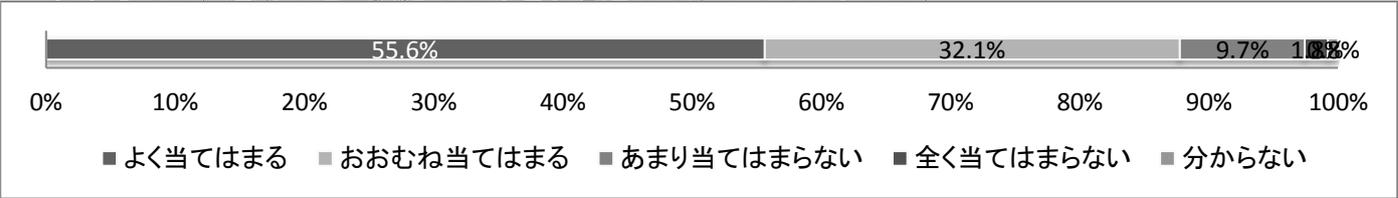
★「習ったばかりの問題は解けるが、過去のことは忘れてしまって解けないことがある。」「子供同士で教え合う文化を作ってください。」「今年度はカリキュラムの進みが早く学力の定着が心配です。」
○コロナ禍により、子供たちが相談したり教え合ったりすることが制限されている状況です。今年度は、全学年で算数による習熟度別指導と、モーニング・プラス(補習教室)を実施し、基礎学力の向上を図りました。保護者の肯定評価は91.1%ですが、教員の評価は71%です。途切れることなく取り組んでいきます。

5 お子さんは、学校図書館での本の貸し出しを利用するなどして、読書に親しんでいますか。



○一番肯定的評価が低い項目です。感染症対策で9月までは学校図書館の利用や本の貸し出しもままならない状態でした。読書によって身に付く言語能力は全ての学びの基本です。全校一斉朝読書や読書旬間、長期休業中の課題等として今後も継続的に取り組みます。例えば、ご家庭で「読書タイム」などを設けると効果は相乗的になると思います。

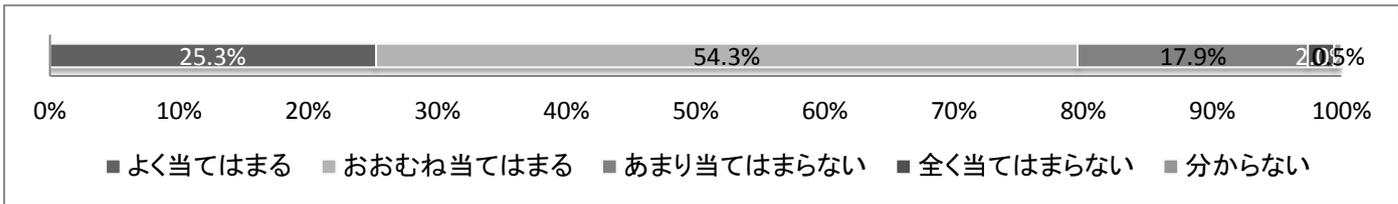
6 お子さんは、運動や芝生校庭での外遊びを進んで楽しんでいきますか。



★「放課後も校庭で遊べるよう、校庭開放の機会を検討していただきたいです。」「虫除けをしても、授業中にブヨに足をよく刺されます。昨年度までは体育時、長ズボンの使用が許可されていました。今年度は不可とか。」

○下校後(ランドセルは一旦家に置いてから)の放課後の校庭の使用は「夕焼けチャイム」までは特に制限をしていません。見守りはありませんが、自由に使って遊んでください。ブヨについては、発生源であると思われる校庭外周のU字溝の清掃をこまめに行っていますが、完全に抑えるには至っておりません。発生の多い6月、9～10月は、体育の授業での肌を露出しない服装や、虫刺され予防のスプレーなども許可しています。必要に応じてご家庭での対策もお願いできれば幸いです。

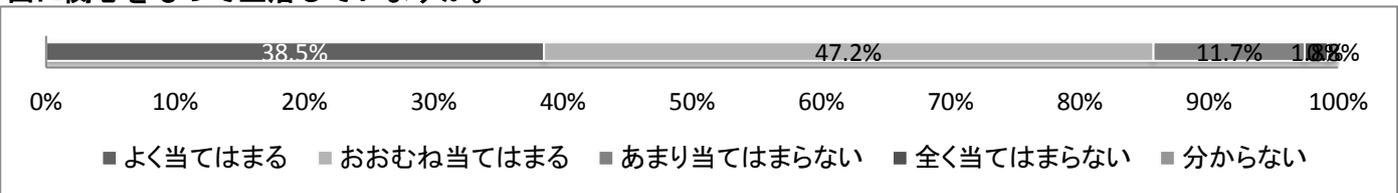
7 お子さんは、進んで歯磨きをしたり、好き嫌いをなく食べたり早寝早起きをするなど、健康面に関心をもって生活していますか。



★「校門を出るとマスクを外してしまう子供もいます。お互いがマスクを外さなければ濃厚接触にはならないので、友達が外してもマスクを外さないよう話しています。帰宅後、外で遊ぶ時もマスクをしていない子供もいます。」

○マスクは、つけている人の飛沫飛散防止に効果があると言われてしています。今後も学校では、皆が安心して過ごせるよう、外出時や対人場面での着用の指導を重ねます。ご家庭でもお子さんへの指導をよろしくお願いいたします。

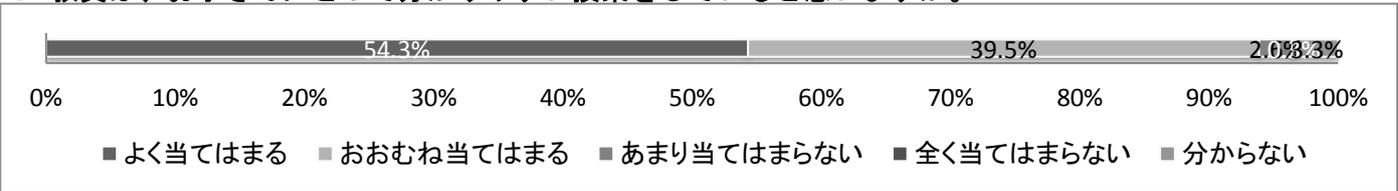
8 お子さんは、遊びに行くときに行先を告げたり、自転車乗車時にヘルメットをかぶったりするなど、安全面に関心をもって生活していますか。



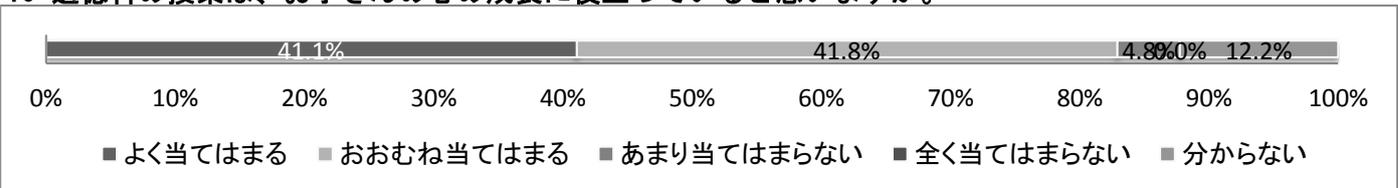
★「遊歩道の下り坂でブレイブボードでスピードを出す子供もおり、いつ事故がおきないかヒヤヒヤしています。」

○鶴牧西公園からジオ、ブリリア、ヴィークステージに至る遊歩道は、道幅も広く緩やかな下り坂になっています。接触事故もよく発生します。学校でも、自転車の乗り方等について講習会を行ったり、学級指導を重ねています。ご家庭でも、子供たちの安全のため、買い与えておしまいではなく、使用方法について実地の指導をお願いします。

9 教員は、お子さんにとって分かりやすい授業をしていると思いますか。



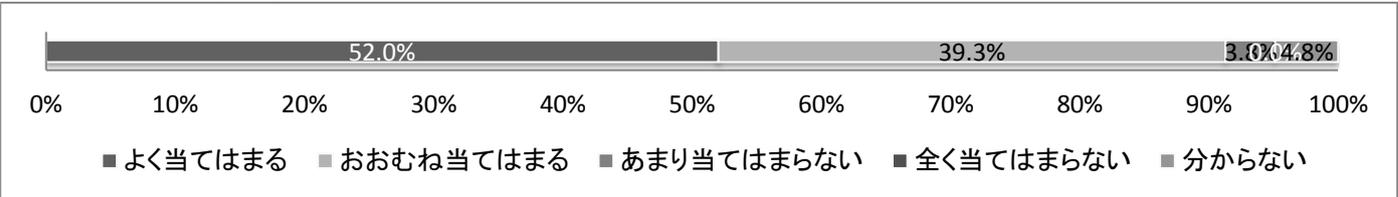
10 道徳科の授業は、お子さんの心の成長に役立っていると思いますか。



★「35人学級のニュースを聞きました。より行き届いた指導ができると期待しています。」

○政府が5年間かけて段階的に現在の1学級40人の基準を35人にしていくことを発表しました。教員も大いに期待を寄せているところです。1月22日(金)には、非公開ながら道徳授業地区公開講座を実施しました。今回は全学級でテーマを「いじめ」に絞りました。自分自身のあり方、他とのかかわり方、社会のとらえ方といった視点で、各学級それぞれのアプローチでテーマに迫った授業を行いました。週予定やホームページに掲載しましたのでご覧ください。

11 お子さんは、見学・外部の方の出前授業・栽培活動・飼育などの、体験的な学習活動に積極的に取り組んでいると思いますか。



★「6年生のピンチはチャンスプロジェクトでは、子供たちのためにいろいろ考え、工夫していただき、小学校最後のとても良い思い出になりました。ありがとうございました。」「ピンチャンプロジェクトでは、大変な中、先生方が子供たちに寄り添い、できる限りのことを一緒に進めていただき、大変感謝いたします。子供たちの大きな成長へのご指導、思い出作り、本当にありがとうございました。」

○中止となってしまった八ヶ岳移動教室の代替行事として校内宿泊が実施できたことは、何より子供たちの真摯な取り組みの結晶だと思います。その経験が大きな自信になりました。ご家庭のご理解・ご協力に感謝申し上げます。

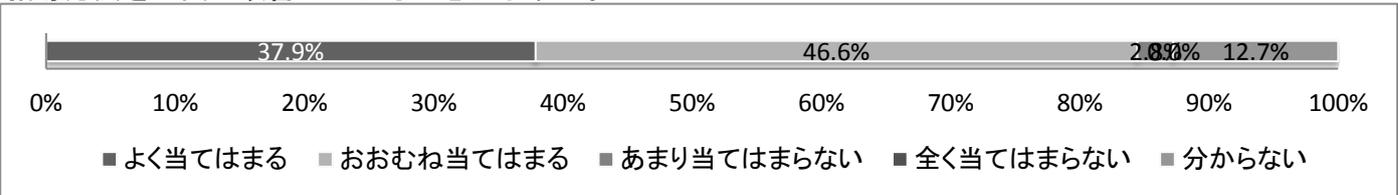
12 お子さんは、分からないことを聞いたり、自ら調べたりして、自主的に学習に取り組んでいると思いますか。



★「週に1度の自主学習が苦手なようで、毎週頭を抱え、時には泣きながら取り組むことがあります。しかし、そのような力は大切だと思うので、徐々に研究すること、探究することの楽しさに気付いて欲しいと見守っています。」

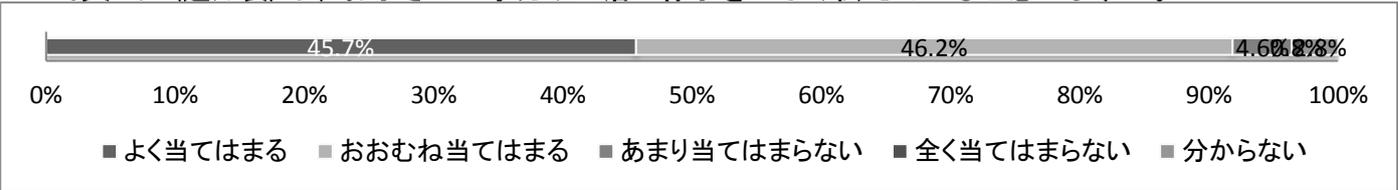
○自主学習では、子供たちが日常生活の中での課題を見つける力、自分自身の才能を見つける力、解決しようとする姿勢とプロセス等を身に付けてほしいと考えています。そこで得られた知見は、本物の知恵につながります。ご家庭では、お子さんが迷った時に、答えではなく解決のためのヒントを授けていただければと思います。保護者、児童の肯定評価は8割を超えましたが、教員の評価は67%とかい離が見られました。今後も継続していきます。

13 学校は、習熟度別指導やピアティーチャー、ALT、外部講師、地域団体、企業等の体験活動を活用して指導方法を工夫・改善していると思いますか。

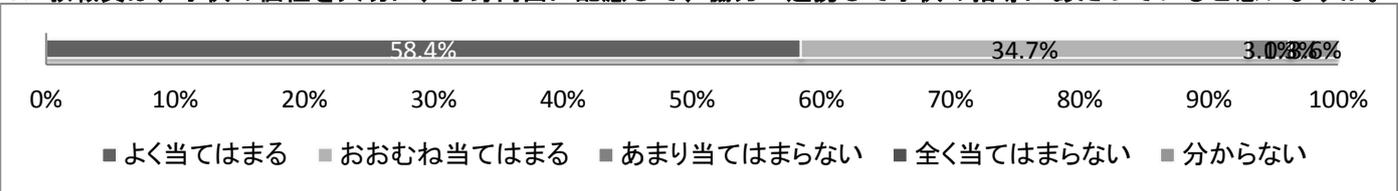


○今年度は、全学年で算数の習熟度別授業を実施しています。3学級を6グループに分けている学年もあります。モーニング・プラス(補習教室)と併せて、子供たちの「できた」「分かった」という喜びが学習意欲の向上につながってほしいと思います。学びに向かう意欲を高めるには、きっかけが必要です。

14 “あゆみ”(通知表)は、お子さんの学力や生活の様子を正しく伝えていると思いますか。



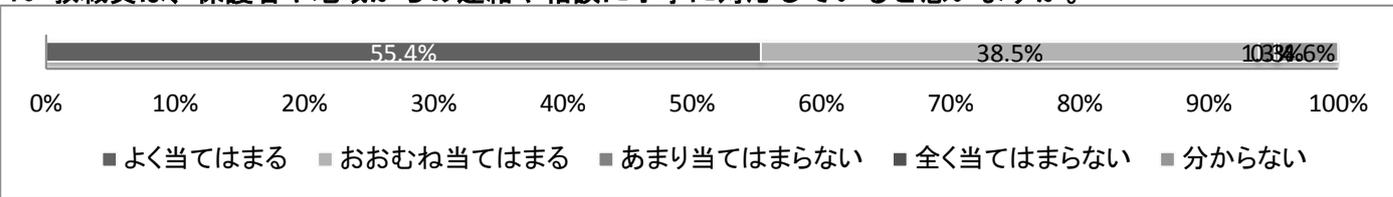
15 教職員は、子供の個性を大切に、心身両面に配慮して、協力・連携して子供の指導にあたっていると思いますか。



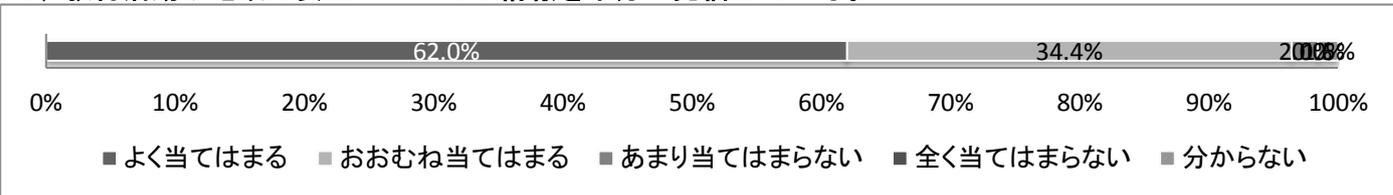
★「学級担任とわかばの先生が子の個性や性格にとっても真摯に向き合ってくださっていると日々感じます。双方の先生が連携をしっかりとなさってください、互いに補完するように本人に合った学習で力を引き出してくれています。」「コロナ禍で制限されている中、ミニ運動会やまち探検、形を変えての鶴の子祭りなど、工夫して心の栄養となる楽しい活動も維持してくださりありがとうございます。6年生の学校宿泊の報告も大変感動しました。」

○保護者の肯定評価は95.8%。児童の肯定評価は96.5%。教員の肯定評価は93.8%と、高評価となりました。情報共有や指導の統一等、連携を意識して日々指導に当たっていますので、うれしい限りです。今後も、学級担任だけでなく、学校全体で一人一人を育てる姿勢を忘れずに指導に当たっていきます。

16 教職員は、保護者や地域からの連絡や相談に丁寧に対応していると思いますか。

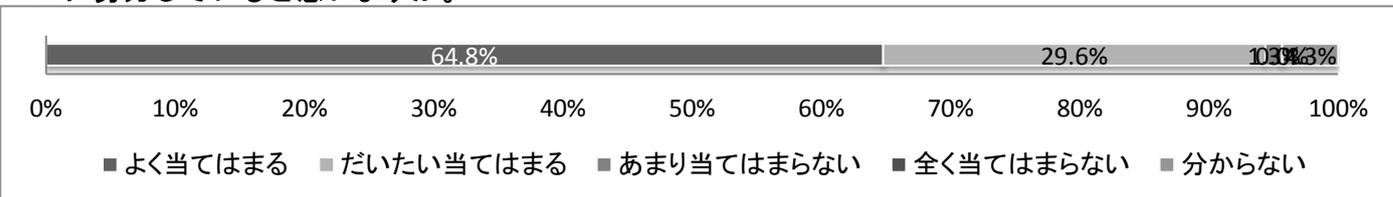


17 学校は、学校公開や授業参観、保護者会、学校行事、学校ホームページ、おたより、メール配信等を通じて、教育活動や地域の安全についての情報を十分に発信している。



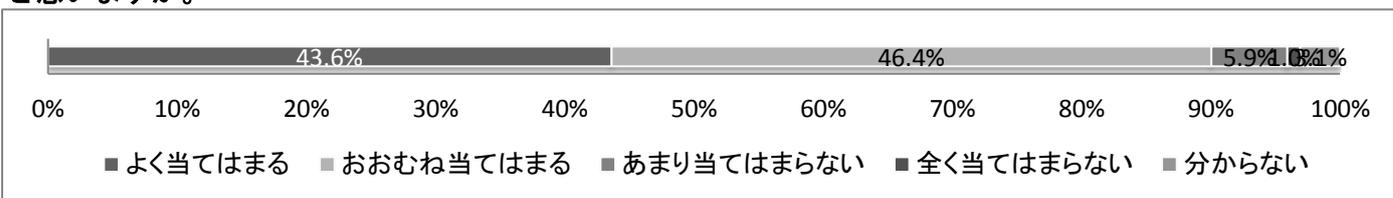
★「ホームページの更新が多く、見るのを楽しみにしています。授業のことも出てくるのでこんなことしたの？と話をすることもあり、大変助かっています。」「学校ホームページに関して、防犯のため、毎年変更されるパスワードを設定し、閲覧できる人を学校関係者のみとした方が良いのではないかと思います。」
 ○ホームページをご覧くださりありがとうございます。今後も積極的な情報発信を行っていきます。また、防犯・安全面から、一部に「パスワード」をかけることを検討します。個人情報に掲載しないよう(児童の顔と名前が一致して特定ができないように)にしておりますが、お気づきの点がありましたらご連絡ください。

18 学校は、地域・保護者と協力しながら、校庭芝生や施設、設備などの環境整備や省エネ・リサイクル等のエコに努力していると思いますか。



★「保護者の力を頼りすぎている部分が多いと思います。」「PTAですが、多様化している家庭環境等が全く考慮されず、全ての家庭がPTAで同じ仕事をこなさなければならないことに疑問を感じます。本当に時間が限られた人や、できることが限られている人向けに仕事を作ってください、学校に少しでも貢献できたら良いなと思います。」
 ○94.4%の大変高い肯定評価をいただきました。日頃より教育活動にご協力いただき、ありがとうございます。子供の教育は学校のみでは完結しません。また、昨今様々な対応が学校現場には求められています。新しいことを実施する際、マンパワーが限られているのならばスクラップ・アンド・ビルドは必須ですが、教育にスクラップは馴染みにくい面もあります。学校がブラックと言われるゆえんです。そのような状況の中、保護者の皆様も含めた外部の力を積極的に借りし、何より子供たちの未来のために学校は進んでいます。何卒ご理解ください。また、様々な家庭環境がある中、PTA活動はこれがベストという形はないものです。時間や場所等が限られた方ができる分担もあります(父母と教職員の会まるわかりガイドブック参照)。学級の世話人さんを通じて、要望をどんどん挙げてください。

19 学校は、“新しい生活様式”に対応した、オンラインを用いた取り組みや、新たな教育活動を行っていると思いますか。



★「保護者会がZoomでできるようになり、リスクが減り安心できます。」「コロナ禍において、学習やその他の進捗具合や宿題、オンライン体制が、近隣地区でかなりバラつきがあるように感じます。南鶴牧小の現状の進捗具合や、今後、多摩市はタブレットやZoomなどを用いたオンライン授業が行われる予定があるのか等の情報を発信していただくとありがたいと感じます。」「コロナの影響で制限がある中でもいろいろと工夫していただき、子供たちが体験を通して学ぶ場を与えていただき、感謝しています。学校に通えることがどんなに幸せなことだったのかを感じさせられる1年となりました。」「スマホの友達とのやり取りの時間を21時以降はダメ等とはっきり決めてほしい。」
 ○各ご家庭でのICT機器の所持状況は異なりますし、どの児童(ご家庭)にも機会は平等であることが公教育の原則ですから、オンラインによる朝の会や保護者会の実施には躊躇(ちゅうちょ)がありました。しかし、現状を考え、できることは行っていこうとの考えのもと開始しました。市内小学校では最初の取組校でしたが定着してきました。今のところオンラインの活用はあくまでも補助的なものとして考えています。再休校や児童の濃厚接触者(2週間の自宅隔離等)が出た場合には、授業の配信も考えています。また、政府のGIGAスクール構想により、4月に1人1台のタブレット端末が児童に貸与されますが、多摩市では当面は家庭への持ち帰りはできず校内での使用のみとなります。ご家庭内での子供の情報端末機器の取り扱いについては、学校だより第7号「新“なんつるルール”の誕生」でお知らせしましたように、「おそい時間 やる時間 ことばづかい おやこで考えよう ネットのルール ゲームのルール」というSNSルールを児童の運営委員会で決めました。ご家庭によって環境や事情が異なります。おやこで話し合っ使用のルールを決め、守らせてください。本校では、小学生には自分専用のスマートフォン(タブレット)やPCは不要とアナウンスしています。携帯依存やゲーム依存が、不登校傾向の要因となるケースが増えてきているからです。